

平成27年度
第9回 野津原中学校区適正配置地域協議会

日時：平成27年8月27日（木）

19:00～

場所：野津原市民センター大会議室

I 開会のことば

II 会長あいさつ

III 議事

1 統合の時期・方法について

2 地域協議会としての要望について

3 その他

IV 閉会のことば

IV 議事

1 統合の時期・方法について

(1) 統合の時期

- ・平成29年4月統合 又は 平成30年4月統合

(2) 統合の方法

(3) 協議

2 地域協議会としての要望について

(1) 各校区のアンケート結果等について

(2) 地域協議会としての要望(案)について

(3) 協議

3 その他

(1) 中学校の小規模特認校制度について

- ・特色ある教育活動を充実しながら、市内全域から希望する生徒を受け入れる。
- ・竹中中学校が27年度から3年間、試行的に実施している。

(2) 第10回地域協議会の開催について

- 10月15日(木) 19:00～
- ・協議の取りまとめについて
- ・報告書(案)について

野津原中学校区適正配置地域協議会の協議スケジュール

年度	開催期間	協議事項	配付資料等
25	第1回 準備会 6. 5(水)	・大分市立小中学校適正配置基本計画について	6.5 大分市立小中学校適正配置基本計画(抜粋)
	第2回 準備会 7.23(火)	・地域協議会規約について ・今後の日程について	9.25, 10.4, 10.18 3小学校区説明会
	第3回 準備会 10.31(木)	・3小学校区の説明会について ・地域協議会の組織(構成員)について	
26	第1回 5.21(水)	・地域協議会規約(案)について ・地域協議会について	・基本方針(抜粋) ・児童生徒数、学級数の推移
	第2回 7.31(木)	・スケジュール等について ・今後の協議内容について①	・野津原中学校区説明会の 質疑の要点整理
	第3回 10. 2(木)	・統合について ・今後の協議内容について②	
	第4回 11.27(木)	・今後予想される日程(案)について① ・統合に伴う通学支援について①	・通学に係る調査結果 ・通学に係る基本的な考え方
	第5回 2. 5(木)	・今後予想される日程(案)について② ・統合に伴う通学支援について②	1.14 野津原東部小協議 1.15 野津原中部小協議 3. 3 野津原西部小協議
27	第6回 4.30(木)	・統合に伴う通学支援について③ ・H27年度の取り組みについて	・通学支援の基本方針 ・H27協議スケジュール案
	第7回 6. 4(木)	・地域とのかかわりについて ・野津原地区全体の学校教育について①	・地域協議会規約、たより ・児童生徒数、学級数の推移
	第8回 7.23(木)	・野津原地区全体の学校教育について② ・統合の時期・方法について①	・碩田中学校区のパンフレット
	第9回 8.27(木)	・統合の時期・方法について② ・地域協議会としての要望について	・各校区アンケート結果 ・小規模特認校のパンフレット
	第10回 10.15(木)	・協議の取りまとめについて ・報告書(案)について	
	第11回 11.12(木)	・報告書(案)について	

第9回 野津原中学校区適正配置地域協議会

資料集

1 統合の時期・方法について

第6回野津原中学校区適正配置地域協議会(H27.4.30)で提案した資料を編集しています。

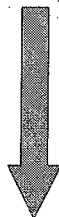
◎ 予想される日程(案)について

地域協議会の協議 (H26年度～H27年度)



- ① 地域協議会における合意形成を行い、報告書を取りまとめ、教育委員会に提出 (27年度・中期頃)

- 統合の時期・方法について
- 統合に伴う通学支援について
- 地域との関係について など

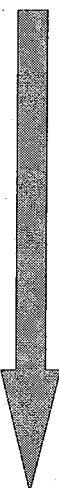


- ② 教育委員会が「野津原中学校区適正配置実施計画」を策定 (27年度中)



- ③ 統合・閉校に係る協議 (28年度) 又は (28年度～29年度)
統合準備委員会、実行委員会等を組織して協議

- 統合に係る協議 (3小学校区で統合準備委員会を組織)
 - 学校運営に係る内容
(学校行事等の検討、PTA組織等の検討 など)
 - 通学に係る内容
(通学方法の決定及び協議 など)
 - 状況に応じて学校名、校章、校歌の検討
(学校名、校章、校歌に関する検討 など)
- 閉校に係る協議 (各小学校区で実行委員会を組織)
 - 閉校記念事業の検討・決定
(閉校式典の検討、記念碑・記念誌の検討 など)
 - 学校施設の活用に係る協議
(学校施設及び敷地の跡地利用の検討 など)
* 小学校区ごとに協議(統合後も継続する可能性あり)



- ④ 3小学校の統合完了 (29年度) 又は (30年度)

野津原中学校区適正配置協議会における要望書の提出について

(野津原東部小学校)

(通学について)

- ・中部小・西部小からバスが出る場合に、東部小でも福宗・辻原・舟ヶ平など遠くから通っている児童のところも近くからバスを出してほしい。
- ・通学路が安全になるように、暗いところは電灯をつけてもらいたい。(2)
(野津原中学校への坂や、九州乳業への坂など)
- ・ガードレールをつけてほしい。(特に中学校への坂は危険。)
- ・小学校の入口の道幅を広げてほしい。(6)
- ・水路にふたをつけてほしい。
- ・本町と新町の境界の所(バニラハウスの向かい)の用水路にガードレールをつけてほしい。
- ・新町・本町・恵良の通りは横道が多いので『こども飛び出し注意』の看板をもっと増やしてほしい。
(すごいスピードで車が走っているのをよく見ます。)
- ・スクールゾーンの表示をしてほしい。

(校舎について)

- ・校舎裏・体育館横など、木や竹をきれいに切ってほしい。
- ・児童数が増えるため、グラウンドを広くしてほしい。(4)
- ・出入り口を正門以外(児童クラブ側)に作ってほしい。(2)
(校門前の通行量も増えると思うので、裏門から車で行けるようにしたらどうか。)
- ・教室から体育館への移動距離が長いように思う。雨の日なども大変そう。
- ・駐車場の確保
(PTAの時などに今現在でも入りきれない。支所横等、常に駐車できる場所を確保してほしい。)
- ・トイレの洋式化、拡張。
- ・老朽化した備品(教材)の更新。

(児童育成クラブについて)

- ・育成クラブの建物をちゃんとしたものにしてほしい。
- ・育成クラブの人数が増えると思うので、広くしてほしい(2)

(その他)

- ・特別支援学級の申請があればただちに設置してほしい。

野津原中学校区適正配置地域協議会への要望

(野津原中部小学校)

○通学について

- ・通学支援の適用について廃校となる学区だけでなく、新校区として考えるべきではないか。
- ・育成用のバスがあるとよい。
- ・徒歩通学を考えたとき柿野の坂の整備、安全確保が絶対必要（外灯増設、ガードレール設置、非常時避難所設置等）
- ・路線バスの増設
- ・スクールタクシーの運行が安全だと思う。（全額支給）
- ・利用する家庭ごとに通学手段を選べるものが良い。
- ・子育て現役世代の意見を第一に市（行政）がすべて面倒を見る覚悟で事にあたってもらわねばこまる。市（行政）の都合で校区が変わる訳だから、幹線上（国道、県道、市道、農道含む）の通学バス、タクシーの経費を用意すべき。（幹線までは家庭で）
- ・一時間程度ならば徒歩でもよいのでは。
- ・支援期間を12年間とした場合それ以降子供がいる家庭が減り、過疎、地域力の低下につながるのでは、地域作りという観点から期限をきらないで欲しい。
- ・児童の安全を最優先し心身に与える影響を考え無理の無いよう十分検討し配慮して頂きたい。
- ・支援期間を12年間とせず、対応できる策はないか。特に低学年のいる家庭では、心配になるであろうから、いつまでもどの学年でも安心して通学できるよう検討して欲しい。
- ・野津原地区での子育てを希望、検討される方々にとって支援期間をきらず続けた方が良い。
- ・たかだか6年間子供の教育費用は親が負担すべき。

○地域交流について

- ・スポーツや講演会等で交流を続けたい。
- ・高齢者が多く交流事業にはメリット、デメリットがある。
- ・子供たちと交流するのを高齢者は楽しみにしている、無くさないで欲しい。
- ・いろいろな形の交流になっていくであろうから、運営側、参加側共によく話をしなければいけない。
- ・野津原全体でといわれると分からない所もあるが、中部校区での活動は続けて欲しい。
- ・学校を中心に地域の集まりが出来ていましたが、今後は難しくなるのですね。
- ・他校区との交流を計っても良いのでは。
- ・広くなった地域では、交流も難しいのでは。しかし、子供たちと共に参加できるものを作る必要があると思う。
- ・学校の持つ地域的意義等も考え十分に地域の方から理解と協力を得られるようこれまで以上に努めなければならない。
- ・各校の行事をそのままというのは難しい。
- ・三世代交流大会くらいしか出来なくなるのでは。
- ・遠足を中部、西部へ行く、そこで交流イベントをする。
- ・校区（地区）対抗運動会をする。
- ・現在行っている交流行事の継続。（田植え、秋のふれあい交流会）
- ・新たに校区祭り等をする。

○跡地利用について

- ・校区公民館として校区民が利用できるように。
- ・いろいろなお店を展開してはどうか。
- ・校区専用育成クラブ
- ・東部小よりも校庭は広いと思うので、運動会を中部のグラウンドにするのはどうか。
- ・公園（遊具のしっかりしたもの）、ゲートボール、グランドゴルフ場
- ・福祉施設
- ・工場誘致（地域の雇用確保）
- ・キャンプ場、宿泊施設
- ・災害時の避難所にもなっているのでスポーツやビジネススペースとしてなんとか残して欲しい。

- ・児童がいなくなると管理も大変になるが、誰でも利用できる施設に。
- ・たとえば「つくみん公園」のような乳幼児～小学生くらいまでにターゲットを絞った画期的な公園。校舎は、休憩や飲食が出来るスペースとして利用。
- ・体育館は利用出来るが校舎は取り壊したほうが良い。
- ・あくまでも公共施設として利用、売却はしないで欲しい。
- ・畑利用、借り手があれば。

○その他について

- ・野津原で子育てしたいと思えるような人が増えるチャンス、良い方向に進むことを願います。
- ・中部校区育成クラブを残して欲しい。
- ・協議会だよりが分かりにくい。(質問と回答)
- ・細かい所の情報共有が出来ていないように思う。
- ・すべての事において行政は、小を切り捨てますね。大が都合よく行けば良いということですね。しかし、切り捨てられてもそこで生きてる市民がいる、その声を拾いに足を運んで頂きたい。
- ・統合する小学校へ通う子供たちをこの野津原で守り育てて行く、そしてその子たちが親となったときやはり野津原で育てたいと思えるものを今考えなければ、今声を上げなければ決して豊かな大分市にはなれない。
- ・統廃合は今当たり前となって来ているが、人口分布自体の適正化を計ったほうが良いのではないか。
- ・小中併設校を小学校もしくはわ中学校建替えの際に新設して欲しい。

○野津原地区全体の学校教育について

- ・野津原地区として考えるのであれば、学校教育のなかに地域コミュニティーのあり方なども組み込み、地域特性をいかした教育をしてほしい。
例 田植え、稲刈りといった農業体験
- ・野津原で育った子供たちが親となる時野津原で育てたいと思える教育をしてほしい。
例 Nスポ、社協等の体験、参加型イベント
- ・今後も爆発的な人口増加はありえないであろうが野津原地区で生活をする人がいなくなるわけではないので地域とのつながりも大事な事だと思う。
例 地区における子ども会行事または地区行事への参加
- ・学校とは地域の核であり伝統や風習を学び伝える大切な場所であると思う。
例 神楽、琴、竹細工等体験授業 中部ふれあい交流会における「おやじの授業」
- ・野津原地区は広いので、安心、安全の確保がしっかりできる体制が必要だと考える。
例 登校指導や下校時見守りパトロール
- ・教育において幼保一体型施設のつはるこども園がある、小中一体型(併設型)の新しい学校をつくり、乳児から中学生まで幅広く学べる地区としてスタートできるのではないか。
例 賀来小中学校のように中学校と併設して小学校を建てる
- ・教育を核に若い世代が住みたい地区(町づくり)が必要。
例 跡地等を利用した公園やコミュニティプラザのような施設

《野津原中学校区適正配置協議会への要望書及び意見書》

(野津原西部小学校)

●通学について

- ・幹線道路まで出るのに距離がある地区もあるので家の近くまで送迎可能なタクシーの通学（全額支給）
- ・西部小に通ってくれている子供たち（兄弟・姉妹）や保護者には優先的に支援して頂きたい。
- ・将来子供たちが安心して故郷西部校区にて子育てできる様に、通学支援期間無期限（期間を決められると、帰りにくい。）
- ・小学校が、現在近くにあるのに、自分達の意思とは反した統合という結果に非常に残念な形。中学校より遠い所に通うのだから通学方法は、全面的支援及び全額支給！
- ・将来、併設型小中一貫で中学校の敷地内に小学校が出来るのであれば、それまで全面的援助、ただし、併設型になるのであれば再考。
- ・幼稚園、小学校の児童と一緒に乗り合わせての送迎をお願いしたい。
（乗車時間を考えてほしい）
- ・長時間の通学方法は不可。（子供に負担・ストレスがかかる為）

●統合後について

- ・校名、校章、校歌は、3校が一つになるのだから全てを新しくして頂きたい。
（東部小学校の延長ではない）
- ・遠距離通学する上で、生活時間も大きく変化してくると思われます。精神的ストレス等に対応できるようカウンセラーを配置し、児童の心のケアをして頂きたい。
- ・児童の心身に与える影響を考え、無理のないように充分配慮してもらいたい。
- ・中学校の耐震改修工事に合わせて小中一貫教育を中学校と同じ敷地にて、9年生を希望

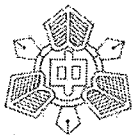
●その他

- ・中学生の野津原中学校離れ、流出を止める為に隣接校制度の制限が、一番だと思ふ。
- ・隣接校制度の制限の拡大を、お願いしたい。
- ・今回の統合が中学校の耐震改修工事の時期と重ならず非常に悔しく残念。併設型の9年制なら小学校から中学校に上がる際に生徒の流出を防げたのではと思ふ。
- ・統合後の行き当たりばったりの工事は絶対避けてもらいたい。
- ・環境面、設備面、全てクリアした上での統合。
- ・統合までに子供同士の交流会（日頃の授業なども含め）一緒に授業を行うなど、友達の輪を広げ大きくして頂きたい。
- ・PTA・運動会・学校行事参加の際、西部校区の保護者、父兄は、自家用車にての移動になるので統合までに駐車場の確保をして頂きたい。見る限り、支所の隣に停めている様だが、雨天時は、泥でぬかるんでいたりするので大変。
- ・中学校は、野津原中学に行くのが常識と思ふ。

2 地域協議会としての要望（案）について

第8回野津原中学校区適正配置地域協議会（H27.7.23）で提案した資料を、各校区のアンケート結果をもとに修正しました。

- 統合により野津原中学校区は、1小学校・1中学校となることから、その特性を生かした連携型小中一貫教育を推進するなど、子どもたちの健やかな成長を支える豊かな教育環境を創造するような実施計画を策定してほしい。
- 実施計画策定後は、関係者に説明をするとともに、その周知に努めてほしい。
- 統合に向けた取り組みに関しては、引き続き保護者や地域住民、学校関係者等の意見を聞きながら丁寧に協議を進めてほしい。その際、新たな学校名、校章、校歌についても協議してほしい。
- 統合後の学校については、地域の特性を生かした活動や伝統・風習を学び伝えられるよう、関係者等の意見を聞きながら協議を進めてほしい。
- 野津原東部小学校については、統合により児童数が増加し、スクールタクシーでの登校も予定されていることから、学校出入り口、駐車場、グラウンドなどの環境整備に取り組んでほしい。
- 統合に伴う通学支援については、保護者に新たな負担が生じないように配慮をしてほしい。また、野津原東部小学校区のうち野津原中部小学校区内を通過して登校している地域については、通学支援を検討してほしい。
- 統合に伴い児童の通学環境や生活環境は大きく変化することから、学校、地域住民と連携しながら、街灯やガードレールの設置などについて、関係機関と取り組みを進めてほしい。
- 統合となる野津原中部地区、野津原西部地区については、統合後の施設の有効活用のあり方に関して、当該校区住民との協議の場を設けるとともに、関係部局とも連携しながら、十分に検討してほしい。
- 野津原中学校区の実情に即した新たな教育環境を創造するため、今後、小学校又は中学校の建替えの時期には、施設一体型を含めた小中一貫教育の実施について検討してほしい。



竹中中学校



学校概要

校長：高橋修一
 所在地：大分市大字竹中3621番地
 電話番号：(097) 597-0187
 FAX：(097) 597-0617
 HPアドレス：<http://www.oct-net.ne.jp/~taken-j1/>
 学級数：3学級
 生徒数：20名 教職員数：11名

※ 小規模特認校制度を試行的に実施します。(平成27年4月1日より)

教育目標

自主的に学び、自他を敬愛する心を身につけ心身ともにたくましさ
 を備えた生徒の育成

望ましい生徒像

- 【自主】 自ら学習力、生活力を向上させる生徒
- 【情操】 思いやりのある豊かな心をもつ生徒
- 【規律】 心身ともに健康であり粘り抜く生徒

経営理念 小中一貫による活気ある学校づくり

- (1) 生徒、教職員ともに心の通い合う、明るい温かい学校をつくる。
- (2) 小中の教職員が互いに研鑽しながら子どもの成長のために、ともに指導力を発揮する学校をつくる。
- (3) 生徒の意欲や主体性を重んじ、小規模校の特性を活かした
うらおいと活気のある学校をつくる。
- (4) 家庭や地域と連携し、ともに子どもを育てていく学校をつくる。

学校スローガン

We love our hometown TAKENAKA.

重点目標

義務教育9年間を見通した教育活動の定着と教育課程の工夫

- 9年間を見通した指導体制の定着
- 小中合同分掌等による研究の充実
- キャリア教育の推進
- 乗り入れ授業、小中合同互見授業の実施と定着
- 話し合い活動の工夫による発達段階に応じた表現力の育成

授業力向上による「確かな学力の定着」

- 個に応じた指導による基礎的、基本的内容の定着
- 校内研究や研修による魅力ある、わかる授業づくり
- 家庭学習の定着のための具体的な支援の工夫
- 資格、検定への挑戦

家庭、地域と連携した豊かな心を育む「心の教育」の実践と「健やかな体」の育成

- 道徳教育、人権教育の推進による心の教育の充実
- 生徒会活動の充実
- 体験活動、総合的な学習の時間、交流活動を通じた自尊感情の育成
- 図書館教育の充実、読書習慣の確立
- 竹中を愛し誇りに思う生徒の育成をめざす学校、家庭、地域社会との連携強化(竹中つ子を育てる会・学校運営協議会)
- 食育と基礎体力の向上
- 防災、安全教育、危機管理の徹底

特色ある学校づくり

(1) 地域と小規模校の特性を活かした体験学習の推進

- 高齢者との交流福祉学習
清静園訪問、愛のはがき活動 など
- 地域と学び、地域から学ぶ体験学習
職場体験学習、陶芸教室、竹中文化教室 など
小中・地域との連携行事(合同運動会、文化祭など)

(2) 竹中小中学校における連携型小中一貫教育の推進

- 「資格に挑戦する学校づくり」を目指した各種検定資格(英検・数検・漢検・日本語検定など)の取得
- 学校独自の学力テスト実施や家庭学習の習慣化
(小中9年間を見通した系統的、組織的な取組)

校内研究

9年間を見通した子ども一人一人の力を伸ばす
 系統性を重視した指導法の工夫・改善
 ～ コミュニケーション能力の育成を目指す取組 ～

【研究仮説】

一人一人に目が届く小規模校の特徴を生かし、9年間を見通した子どもの学習に関する課題を詳しく把握するとともに、発達段階と系統性を重視した指導法の工夫・改善を行えば、コミュニケーション能力が育つであろう。

【目指す子ども像】

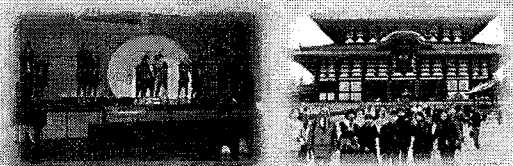
自分の考えをもち、主体的に友だちや地域と関わりを深めることにより、よりよい考え方を造り出し、自分の役割を自覚し実践で

【研究体制】

研究推進部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中一貫教育の研究における総括 ・ 乗り入れ授業や互見授業の時間設定と充実 ・ コミュニケーション能力の育成を目指す授業改革の取組
学習指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「家庭学習のすすめ」の作成 ・ 各種検定に向けた取組 ・ 「個人カルテ」と事後指導の一体化
心と体の教育部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒会活動等における話し合い活動の充実 ・ キャリア教育の実践 ・ 自尊感情を高めるための、異学年道徳をはじめとした道徳授業の充実を目指す授業改革の取組

1年間の主な行事

- 1学期
 4月：始業式 入学式 小中対面式 親睦遠足
 5月：生徒総会 陶芸教室 大規模校との交流学习
 6月：市総体 清静園訪問 美術教室
 7月：期末テスト 球技大会 期末PTA（食育講座） 終業式
 9月：始業式 竹中地区大運動会 福祉学習会
- 2学期
 10月：国際理解学習 市新人大会 中間テスト 公開研究発表会
 11月：竹中合同文化祭 期末テスト 修学旅行
 12月：竹中文化教室 期末PTA 球技大会 終業式
 1月：始業式 課題テスト 卒業テスト
- 3学期
 2月：進路PTA 学年末PTA 学年末テスト
 3月：3年生を送る会 同窓会入会式 卒業式 修了式



学習の様子

竹中中学校では、明るく、温かい雰囲気の中で、一人一人が授業や部活動、各種行事に、楽しく取り組んでいます。また、各教科の授業や総合的な学習の時間では、地域の人々や他校の生徒との交流など、体験的な学習もたくさん行っています。

部活動

部活動は、バドミントン部があります。部員数は少ないですが、みんなで支え合いながら楽しく、充実した活動をしています。個人戦では、夏の県総体に出場しました。



小中対面式



陶芸教室



大規模校との交流



生徒会活動

今年度の生徒会のスローガンは、「紡ぐ（つむぐ）」～一本の太い絆～。このスローガンには、「人数は少ないが、一人一人の距離が近く、つながりがとても強い。運動会や文化祭等の行事を、小学生や地域の方々と協力しての線り上げることでそのつながりをさらに強くできるはず。私たち中学生が中心となり、小学生や地域と一本の太い綱になるようにしたい。小・中・地域が一つとなる素晴らしい竹中をつくっていききたい。」という意味が込められています。皆で協力し、自分から積極的に取り組む生徒会を目指します。

執行部 生徒会活動の中心となり、年1回の生徒総会と月1回の生徒朝会の企画・運営、校旗掲揚（毎日）、生徒会新聞の発行等を行う。
 福祉委員会 花の水やりや草取り、ペットボトルキャップ回収、清静園訪問、地区清掃活動、愛のはがき運動等を行う。
 文化委員会 利用しやすい図書館の運営や忘れ物チェック等の活動をする。また、竹中合同文化祭の企画・運営を執行部とともに行う。
 保健委員会 毎日の健康観察とコンテナ当番、年2回の球技大会の運営、竹中校区大運動会の企画・運営、あいさつ運動等を行う。



生徒総会



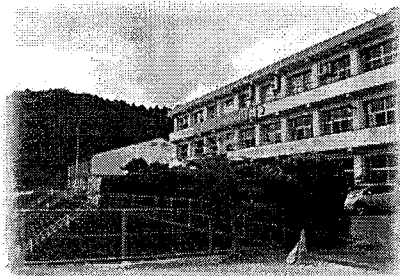
清静園訪問



あいさつ運動



お勧めの図書



三
 悠久の流に
 古家のねに
 かりの本が
 日のけのの
 がののの
 天がけのの
 尊生等
 あき我等の
 竹中
 夢は
 進みゆ
 中みゆ
 学ゆ
 校く

二
 七色の虹
 若竹の河
 ほとりのす
 鳴きわたる
 故郷のたぎ
 堪えゆる命
 直あ我等
 あき我等の
 竹中
 進みゆ
 中みゆ
 学ゆ
 校く

一
 緑萌え
 天の山
 うぐいす
 学舎の
 輝きて心
 清き命の
 あき我等
 竹中
 中みゆ
 学ゆ
 校く

竹中
 中学校
 校歌
 作詞
 作曲
 辛島
 河内山
 内山
 武高
 雄平